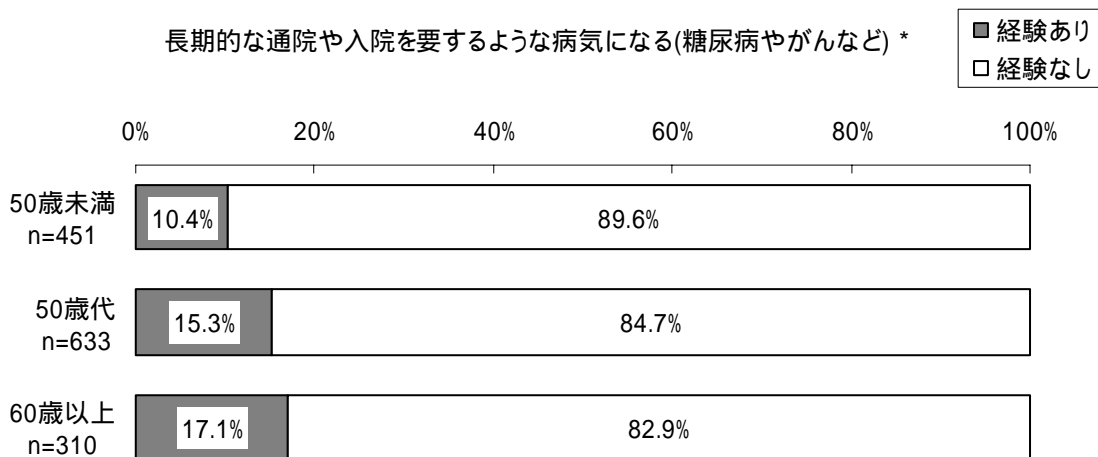


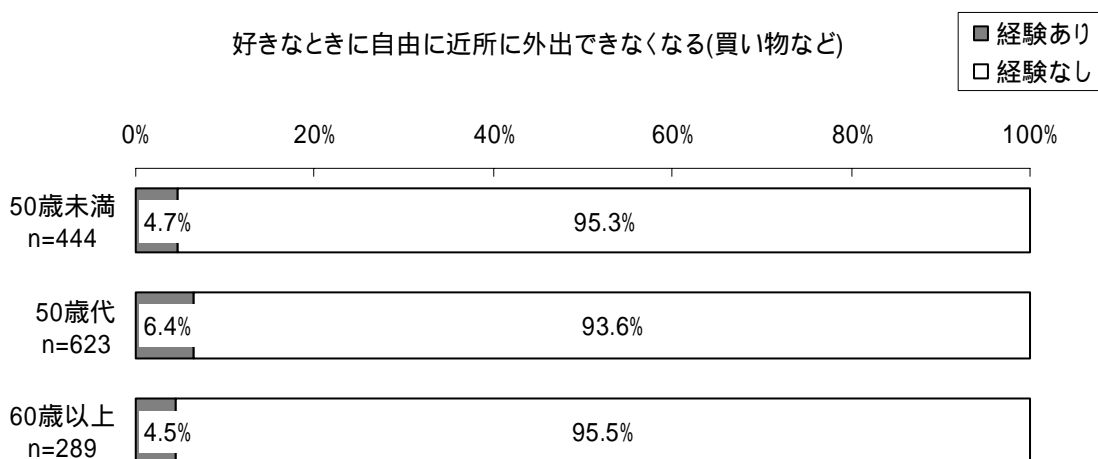
#### 4. クロス集計結果

検定の結果、有意な差が認められた場合、グラフタイトルに \* をつけた。  
 (\*  $p < 0.05$  \*\*  $p < 0.01$ )

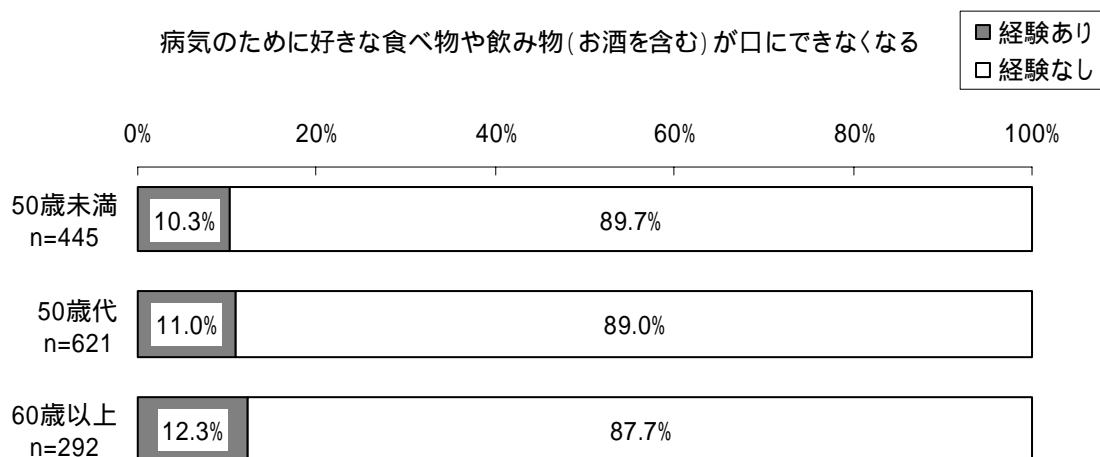
##### 1) 年齢と危機的出来事の経験との関係



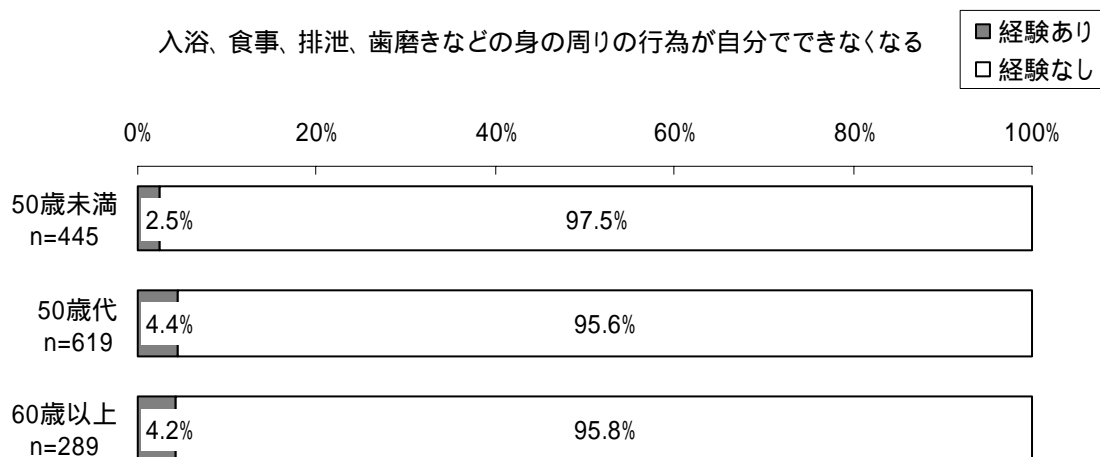
「長期的な通院や入院を要するような病気(糖尿病やがんなど)」の経験の有無を年代別にみると、「経験がある」割合は50歳未満では10.4%、50歳代では15.3%、60歳以上では17.1%であり、統計学的に有意な差が認められた。



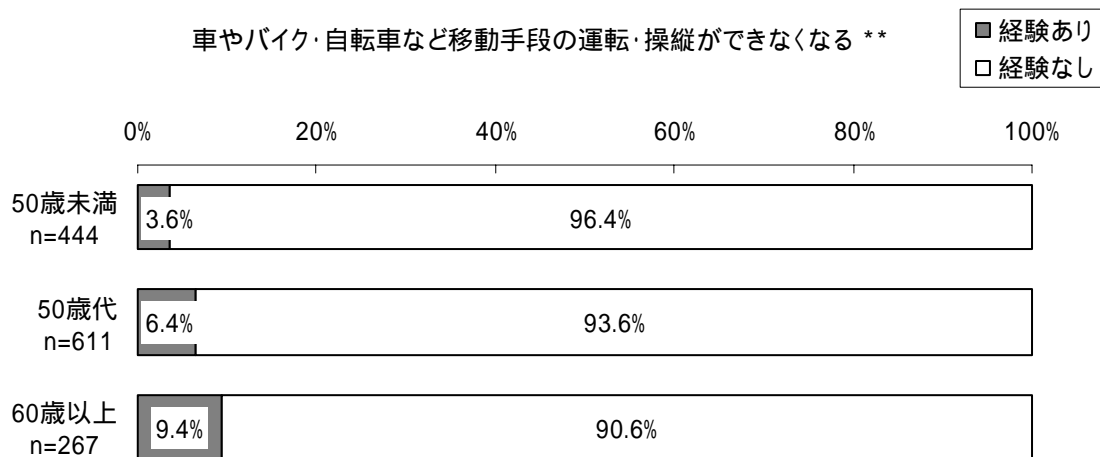
「好きなときに自由に近所に外出できなくなる」経験の有無を年代別にみると、「経験がある」割合は50歳未満では4.7%、50歳代では6.4%、60歳以上では4.5%であった。



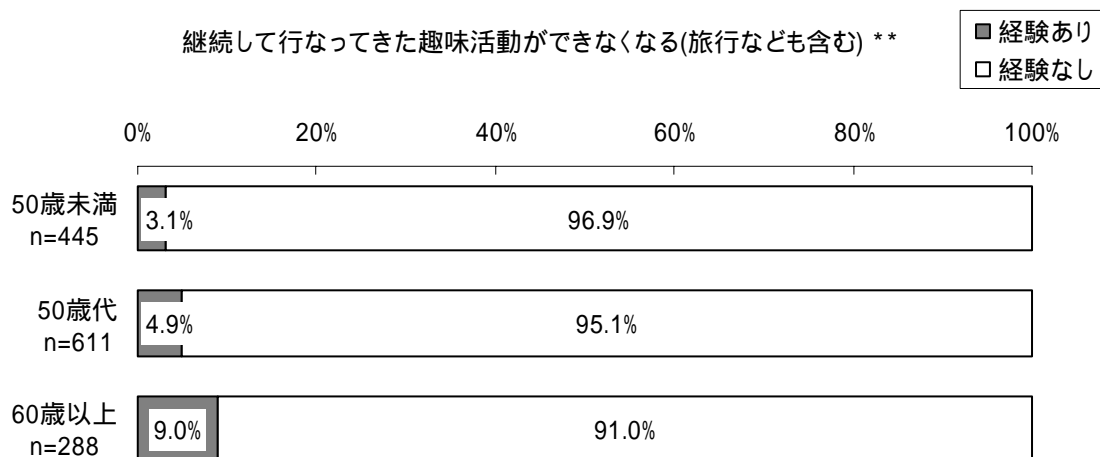
「病気のために好きな食べ物や飲み物(お酒を含む)が口にできなくなる」経験の有無を年代別にみると、「経験がある」割合は50歳未満では10.3%、50歳代では11.0%、60歳以上では12.3%であった。



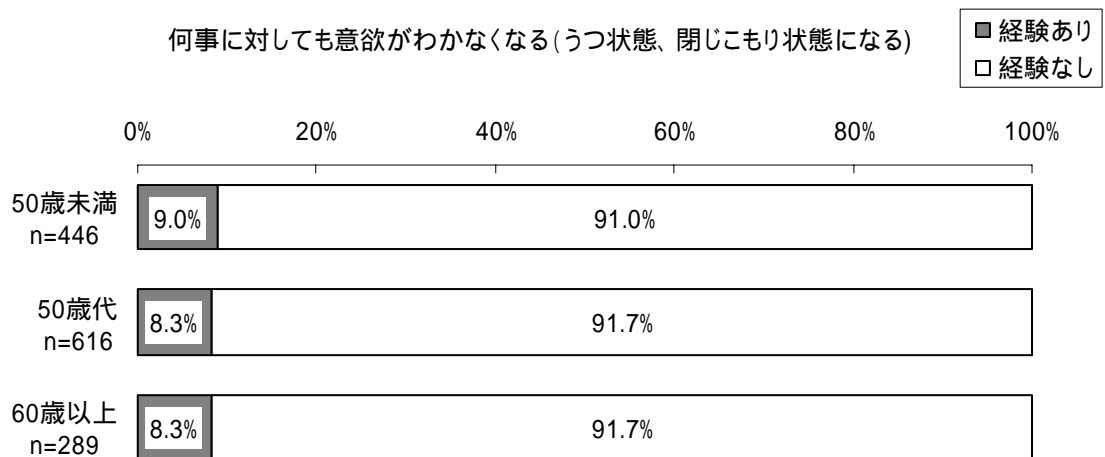
「入浴、食事、排泄、歯磨きなどの身の周りの行為が自分でできなくなる」経験の有無を年代別にみると、「経験がある」割合は50歳未満では2.5%、50歳代では4.4%、60歳以上では4.2%であった。



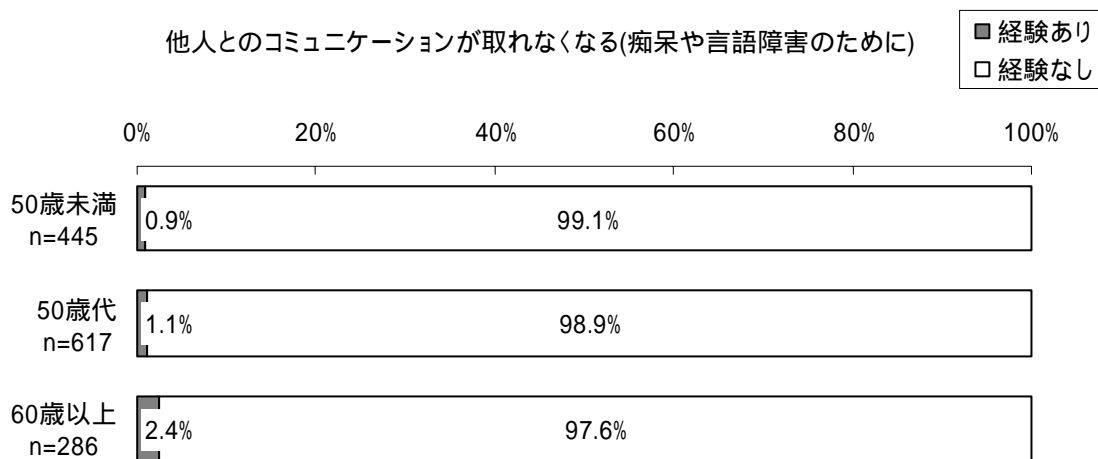
「車やバイク・自転車など移動手段の運転・操縦ができなくなる」経験の有無を年代別にみると、「経験がある」割合は50歳未満では3.6%、50歳代では6.4%、60歳以上では9.4%であり、統計学的に有意な差が認められた。



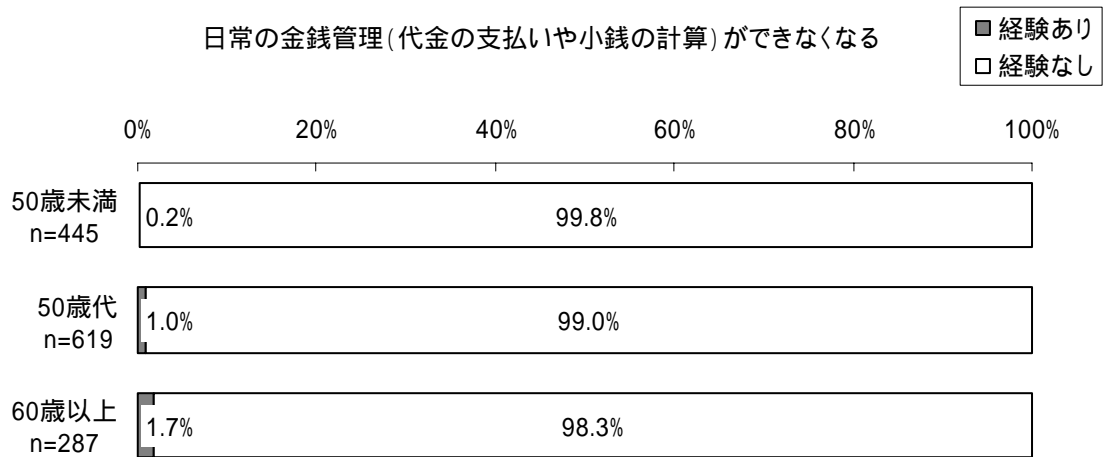
「継続して行ってきた趣味活動ができなくなる」経験の有無を年代別にみると、「経験がある」割合は50歳未満では3.1%、50歳代では4.9%、60歳以上では9.0%であり、統計学的に有意な差が認められた。



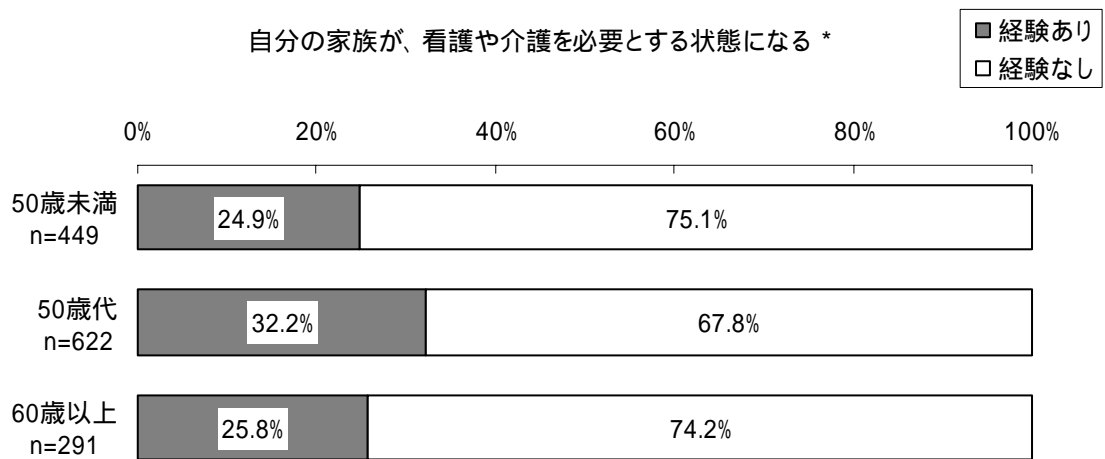
「何事に対しても意欲がわかなくなる」経験の有無を年代別にみると、「経験がある」割合は50歳未満では9.0%、50歳代では8.3%、60歳以上では8.3%であった。



「他人とのコミュニケーションが取れなくなる」経験の有無を年代別にみると、「経験がある」割合は50歳未満では0.9%、50歳代では1.1%、60歳以上では2.4%であった。

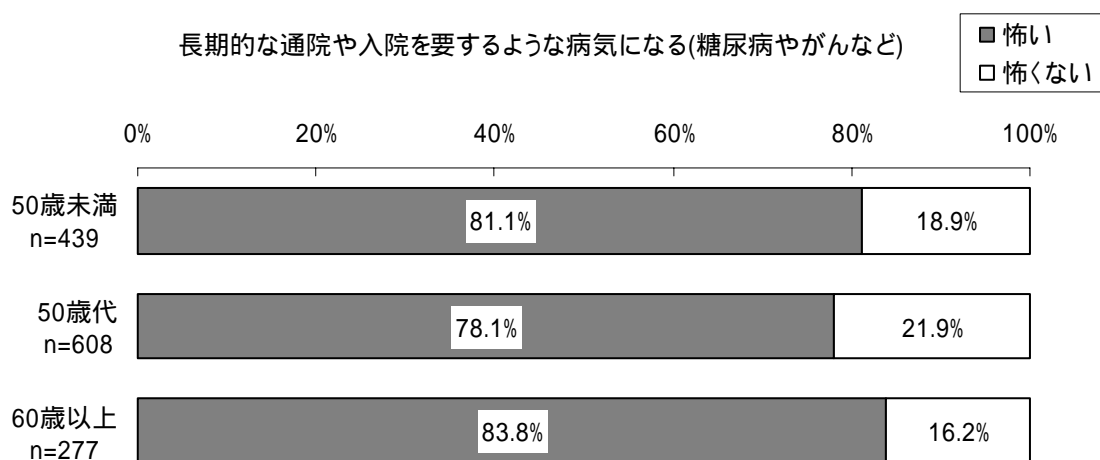


「日常の金銭管理ができなくなる」経験の有無を年代別にみると、「経験がある」割合は 50 歳未満では 0.2%、50 歳代では 1.0%、60 歳以上では 1.7%であった。

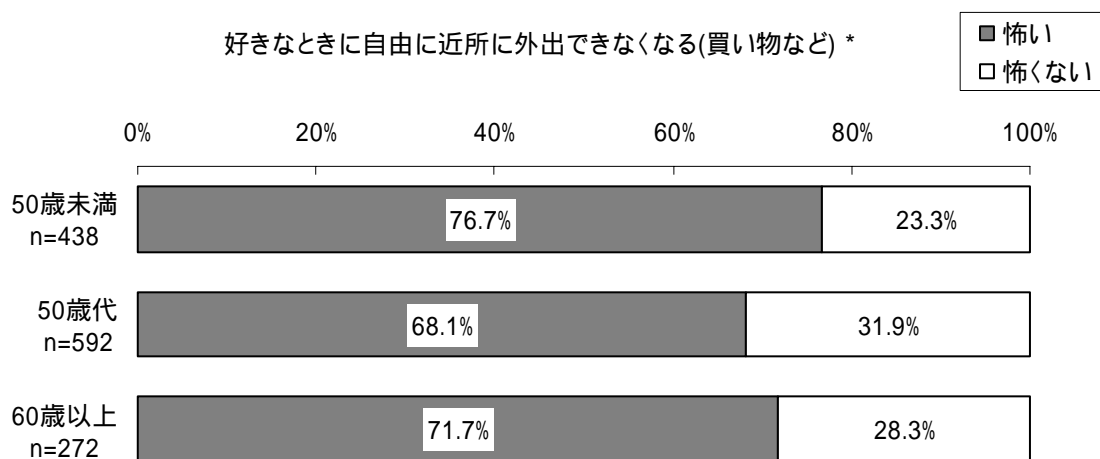


「自分の家族が、看護や介護を必要とする状態になる」経験の有無を年代別にみると、「経験がある」割合は 50 歳未満では 24.9%、50 歳代では 32.2%、60 歳以上では 25.8%であった。

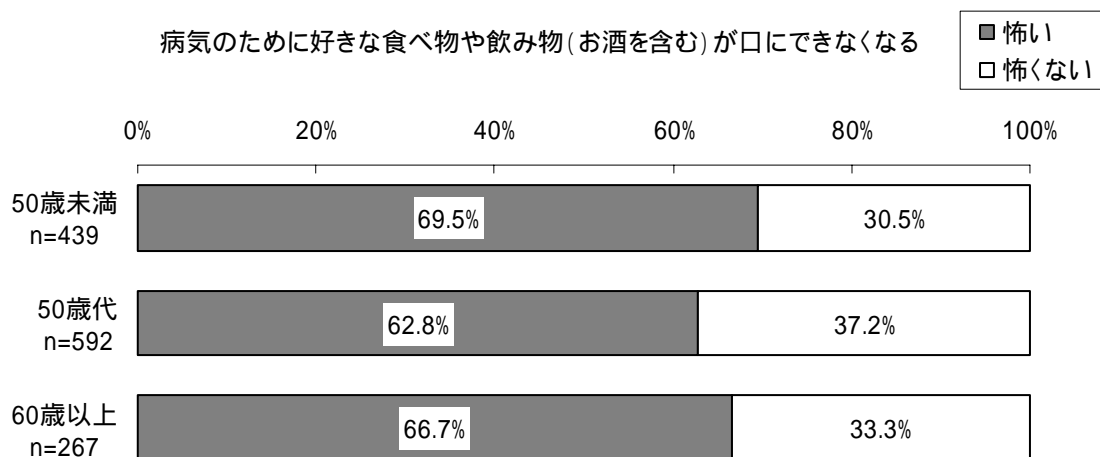
## 2) 年齢と危機的出来事に対する恐怖感との関係



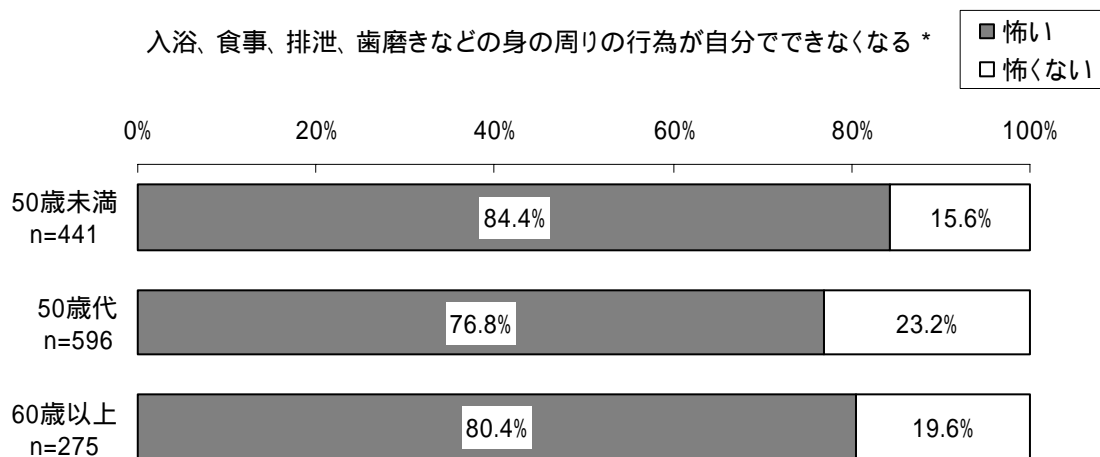
「長期的な通院や入院を要するような病気(糖尿病やがんなど)」を経験することに対する恐怖感の有無を年代別にみると、「怖い」と感じている割合(「非常に怖い」と回答した割合と「少し怖い」と回答した割合の合計)は50歳未満では81.1%、50歳代では78.1%、60歳以上では83.8%であった。



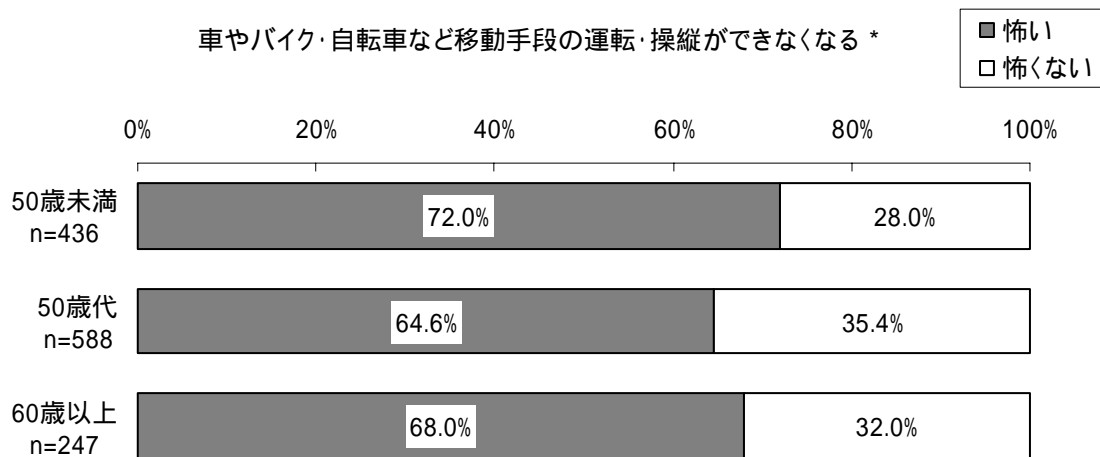
「好きなときに自由に近所に外出できなくなる」経験をすることに対する恐怖感の有無を年代別にみると、「怖い」と感じている割合(「非常に怖い」と回答した割合と「少し怖い」と回答した割合の合計)は50歳未満では76.7%、50歳代では68.1%、60歳以上では71.7%であり、統計学的に有意な差が認められた。



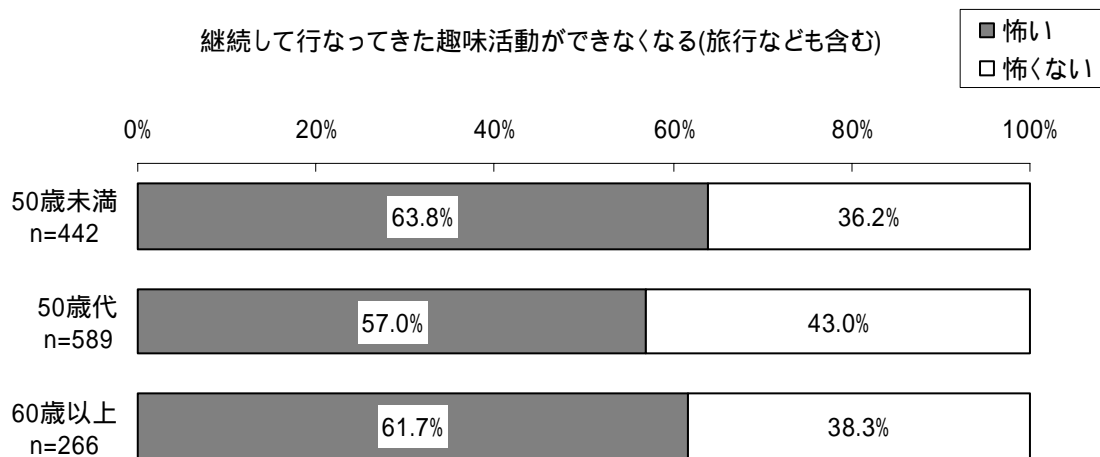
「病気のために好きな食べ物や飲み物(お酒を含む)が口にできなくなる」経験をする事に対する恐怖感の有無を年代別にみると、「怖い」と感じている割合(「非常に怖い」と回答した割合と「少し怖い」と回答した割合の合計)は50歳未満では69.5%、50歳代では62.8%、60歳以上では66.7%であった。



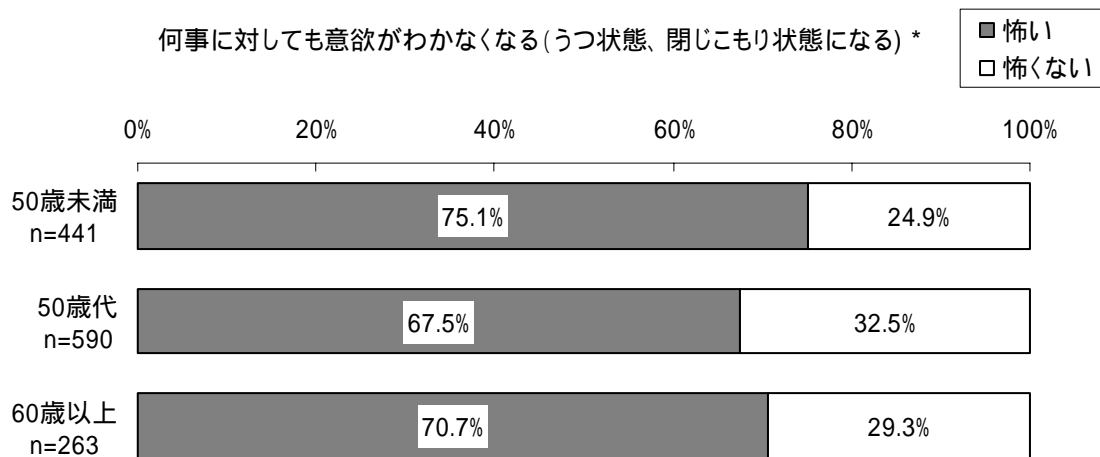
「入浴、食事、排泄、歯磨きなどの身の周りの行為が自分でできなくなる」経験をする事に対する恐怖感の有無を年代別にみると、「怖い」と感じている割合(「非常に怖い」と回答した割合と「少し怖い」と回答した割合の合計)は50歳未満では84.4%、50歳代では76.8%、60歳以上では80.4%であり、統計学的に有意な差が認められた。



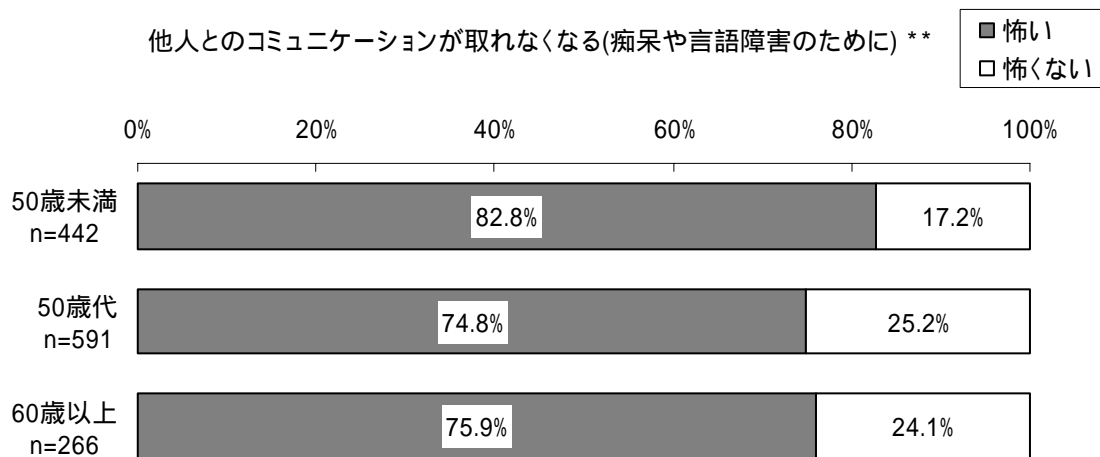
「車やバイク・自転車など移動手段の運転・操縦ができなくなる」経験をするに対する恐怖感の有無を年代別にみると、「怖い」と感じている割合(「非常に怖い」と回答した割合と「少し怖い」と回答した割合の合計)は50歳未満では72.0%、50歳代では64.6%、60歳以上では68.0%であり、統計学的に有意な差が認められた。



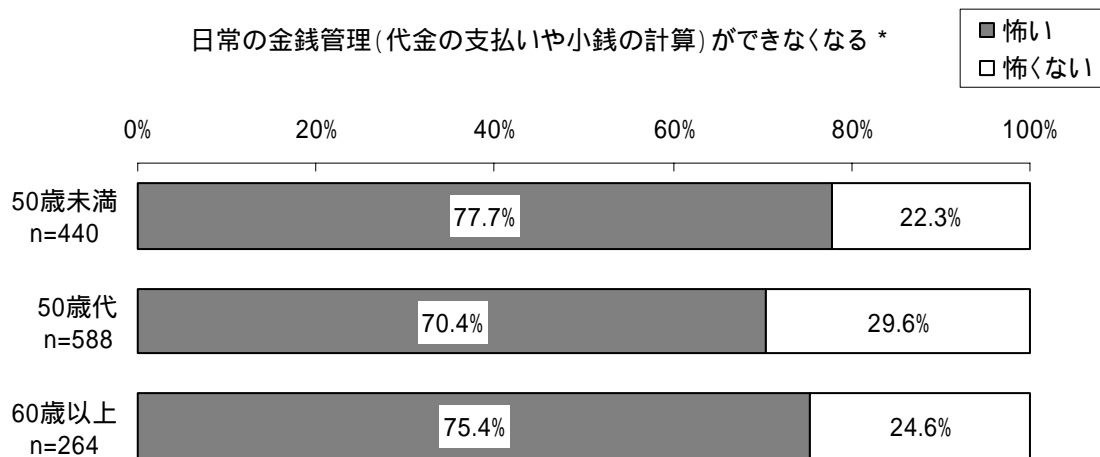
「継続して行ってきた趣味活動ができなくなる」経験をするに対する恐怖感の有無を年代別にみると、「怖い」と感じている割合(「非常に怖い」と回答した割合と「少し怖い」と回答した割合の合計)は50歳未満では63.8%、50歳代では57.0%、60歳以上では61.7%であった。



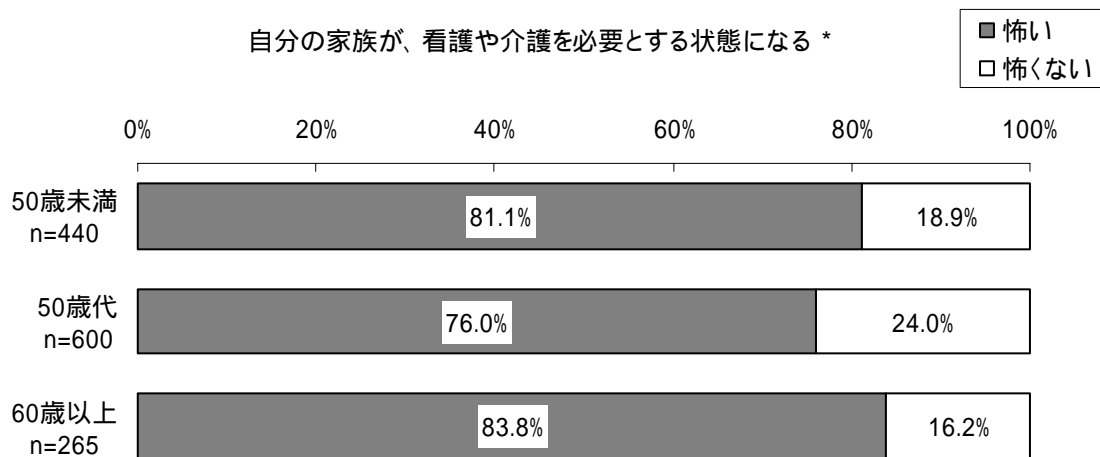
「何事に対しても意欲がわかなくなる」経験をすることに対する恐怖感の有無を年代別にみると、「怖い」と感じている割合(「非常に怖い」と回答した割合と「少し怖い」と回答した割合の合計)は50歳未満では75.1%、50歳代では67.5%、60歳以上では70.7%であり、統計学的に有意な差が認められた。



「他人とのコミュニケーションが取れなくなる」経験をすることに対する恐怖感の有無を年代別にみると、「怖い」と感じている割合(「非常に怖い」と回答した割合と「少し怖い」と回答した割合の合計)は50歳未満では82.8%、50歳代では74.8%、60歳以上では75.9%であり、統計学的に有意な差が認められた。



「日常の金銭管理ができなくなる」経験をするに対する恐怖感の有無を年代別にみると、「怖い」と感じている割合(「非常に怖い」と回答した割合と「少し怖い」と回答した割合の合計)は50歳未満では77.7%、50歳代では70.4%、60歳以上では75.4%であり、統計学的に有意な差が認められた。



「自分の家族が、看護や介護を必要とする状態になる」経験をするに対する恐怖感の有無を年代別にみると、「怖い」と感じている割合(「非常に怖い」と回答した割合と「少し怖い」と回答した割合の合計)は50歳未満では81.1%、50歳代では76.0%、60歳以上では83.8%であり、統計学的に有意な差が認められた。